

文字の書体の指定方法です。

和文のゴシック体：`\textgt` コマンドを使います。

ゴシック体は見出しなどに使う。

欧文の書体の指定は、

`\textrm{}`：ローマン体（標準）、Roman

`\textbf{}`：太字、**Boldface**

`\textit{}`：イタリック体、*Italic*

文字の大きさ変更です。コマンドの使い方は、**{サイズ指定コマンド 文章}**とします。

サイズ指定のコマンドの例は

`\tiny`：5 ポイント 見本 Sample

`\scriptsize`：7 ポイント 見本 Sample

`\footnotesize`：8 ポイント 見本 Sample

`\small`：9 ポイント 見本 Sample

`\normalsize`：10 ポイント（標準） 見本 Sample

`\large`：12 ポイント 見本 Sample

`\Large`：14.4 ポイン 見本 Sample

`\LARGE`：17.28 ポイン 見本 Sample

`\huge`：20.74 ポイン 見本 Sample

`\Huge`：24.88 ポイン 見本 Sample

L^AT_EX で大きな文字を出す。大きいゴシック体。

小さい文字は小さい文字。これは、一番小さい文字

文書全体の文字サイズの指定は、`documentclass` のオプションで指定。